

聖霊降臨節第4週 主日礼拝

2022年6月26日

第一礼拝 (午前8:00～) 第二礼拝 (午前10:30～)

前奏	(新聖歌143)		
招きのことば	『マタイの福音書』5章3-10節	司会者	
開会の賛美	新聖歌23「父の神よ 夜は去りて」	一同	
使徒信条		一同	
代表祈祷		司会者	
聖書朗読	『サムエル記 第一』1章1-18節 (旧約pp.478-479)	司会者	
黙想	(3分間の換気を行います)	一同	
説教	「 ^{くる} 苦しみの ^{なか} 中で ^め 目を ^{ひら} 開け」	近伸之牧師	
感謝の献金	新聖歌143「いと ^{とうと} 尊き」	一同	
諸報告		司会者	
※頌栄の賛美	新聖歌61「御 ^{みめぐ} 恵みあふるる」	一同	
※祝福の祈り		近伸之牧師	
※後奏	(新聖歌59-8)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立をお願いします)
(演奏機の曲は、楽譜と違う表現で流れる事があります)

第一礼拝	司会：片山 勝三兄 集会：小山 千春姉	説教：近伸之牧師 音響：近 ゆかり姉	献金カゴ：沼田佐代子姉他
教会学校	6/5[初子姉] 6/12[猪爪姉] 6/19[近牧師] 6/26[麻美姉] 7/3[佐藤兄]		
ときわ	司会・説教：スクリーン投影 (奉仕者祈り会：近牧師)		
第二礼拝	集計・記録：浩司兄、和美姉	機器操作：有志	献金奉仕：猪爪 和美姉
かやま	司会：山崎 敬典兄	説教：近伸之牧師	
第二礼拝	集会：渡邊 智子姉	音響：近 ゆかり姉	献金カゴ：山岸あけみ姉

今週の暗唱聖句

神は、どのような苦しみのときにも、私^{わたし}たちを慰^{なぐさ}めてくださいます。それで私^{わたし}たちも、自分^{かみ}が神から受ける慰^{なぐさ}めによって、あらゆる苦しみの中^{なか}にある人^{ひと}たちを慰^{なぐさ}めることができます。

(『コリント人への手紙第二』1章4節)

一年間で聖書通読

18 / 52	6/27 (月)	モーセの律法	『出エジプト記』17~20章
	6/28 (火)	歴史書	『サムエル記 第二』5~9章
	6/29 (水)	詩篇	『詩篇』51~53篇
	6/30 (木)	知恵文学	『ヨブ記』35~36章
	7/1 (金)	預言書	『エレミヤ書』27~31章
	7/2 (土)	福音書	『マルコの福音書』15~16章
	7/3 (日)	手紙	『コリント人への手紙 第二』4~5章

個人・団体からの来信 [6/14(火)~20(月)]

2022年6月26日

教団の伝道局伝道部より「佐賀バイブルチャーチ開所式中継ライブ配信のご案内」
6月27日(月)午後1時~2時半
ときわ会堂、隣家の方が、クンシランとコリをくださいました。

諸集会の報告

[6/15(水)~20(月)]	6/19(日)	教会学校	幼児男子1 小学男子- 中学男子- 成人男性- 幼児女子2 小学女子2 中学女子- 成人女性-
6/15(水)	救 禱 会	男1 女3	6/19(日)各礼拝参加者数
6/16(木)		男2 女4	第一礼拝 男4 女6
	※月に一回、読書会を開催		ときわ第二礼拝 男4 女4 男児1 女児4
6/17(金)	しゃべり場タビタ	男- 女3	かやま第二礼拝 男2 女7
6/18(土)	こころテラス		男性合計9 女性合計16
	男- 女6 心和老师も参加		※月に一回、書道教室を開催
※6/22(水)23(木)に祈禱会、6/24(金)にしゃべり場タビタを開催			

諸集会のご案内

	※月に一回、書道教室を開催		
バルナバ祈禱会	6/29(水)午後7:30	かやま会堂にて	
	6/30(木)午前10:00	ときわ会堂にて	
	※月に一回、読書会を開催		
しゃべり場タビタ	7/1(金)午後1:30	小山千春姉宅	報告担当：小山 千春姉
	※月に一回、こころテラスを開催		

7/3(日) 聖霊降臨節第5週

第一礼拝	司会：近伸之牧師		
午前8:00~	集会：小山 千春姉	音響：近 ゆかり姉	献金カゴ：有志
教会学校	午前9:30~		
ときわ第二	司会：近伸之牧師		
午前10:30~	集計・記録：浩司兄、和美姉	機器操作：有志	献金奉仕：猪爪 和美姉
かやま第二	司会・説教：スクリーン投影	奉仕者祈り会：山岸姉ほか	
午前10:30~	集会：(調整中)	操作：山崎 敬典兄他	献金カゴ：(調整中)
主日の予定	新聖歌(賛美曲ほか)：57, 46, 141, 62, 59-7 午後2:00~ 定例役員会 かやま会堂にて		

報 告

1. 本日の予定

主日礼拝の恵みを感謝します。主からいただいたみことばを心に刻みつけて新たな一週間を歩みましょう。本日は、午後1:30よりかやま会堂において会堂建設準備委員会を行います。委員会の働きが守られるようにお祈りをお願いいたします。

2. 宣教区のため

明日、6月27日(月)午前中に、宣教区の牧師会がZoomにて開催されます。各教会の歩み、教師ひとり一人の働きのため、主の守りと祝福を祈りましょう。

3.

『使徒信条』(新聖歌p.826)

われ 天地の 作り主、全能の父なる神を信ず。我はそのひとり子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこより来たりて、生ける者と死にたる者とを審きたまわん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪の赦し、身体のよみがえり、永遠の命を信ず。アーメン

『サムエル記 第一』1章1~18節 (旧約聖書pp.478-479)

1 エフライムの山地ラマタイム出身のツフ人の一人で、その名をエルカナという人がいた。この人はエロハムの子で、エロハムはエリフの子、エリフはトフの子、トフはエフライム人ツフの子であった。2 エルカナには二人の妻がいた。一人の名はハンナといい、もう一人の名はペニンナといった。ペニンナには子がいたが、ハンナには子がいなかった。3 この人は、毎年自分の町から上って行き、シロで万軍の【主】を礼拝し、いけにえを献げることにしていた。そこでは、エリの二人の息子、ホフニとピネハスが【主】の祭司をしていた。4 そのようなある日、エルカナはいけにえを献げた。彼は、妻のペニンナ、そして彼女のすべての息子、娘たちに、それぞれの受ける分を与えるようにしていたが、5 ハンナには特別の受ける分を与えていた。【主】は彼女の胎を閉じておられたが、彼がハンナを愛していたからである。6 また、彼女に敵対するペニンナは、【主】がハンナの胎を閉じておられたことで、彼女をひどく苛立たせ、その怒りをかき立てた。7 そのようなことが毎年行われ、ハンナが【主】の家に上って行くたびに、ペニンナは彼女の怒りをかき立てるのだった。こういうわけで、ハンナは泣いて、食事をしようとしなかった。8 夫エルカナは彼女に言った。「ハンナ、なぜ泣いているのか。どうして食べないのか。どうして、あなたの心は苦しんでいるのか。あなたにとって、私は十人の息子以上の者ではないか。」9 シロでの飲食が終わ



教会目標 **ただ一つのことに向かって走る**

「ただ一つのこと、すなわち、うしろのものを忘れ、前のものに向かって身を伸ばし、キリスト・イエスにあって神が上に召してくださるという、その賞をいただくために、目標を目指して走っているのです」(『ピリピ人への手紙』3章13、14節)

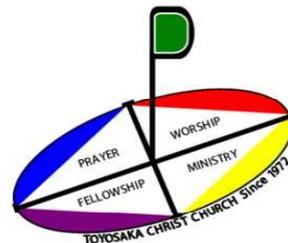
った後、ハンナは立ち上がった。ちょうどそのとき、祭司エリは【主】の神殿の門柱のそばで、椅子に座っていた。10 ハンナの心は痛んでいた。彼女は激しく泣いて、【主】に祈った。11 そして誓願を立てて言った。「万軍の【主】よ。もし、あなたがはしための苦しみをご覧になり、私を心に留め、このはしためを忘れず、男の子を下さるなら、私はその子を一生の間、【主】にお渡しします。そしてその子の頭にかみそりを当てません。」12 ハンナが【主】の前で長く祈っている間、エリは彼女の口もとをじっと見ていた。13 ハンナは心で祈っていたので、唇だけが動いて、声は聞こえなかった。それでエリは彼女が酔っているのだと思った。14 エリは彼女に言った。「いつまで酔っているのか。酔いをさましなさい。」15 ハンナは答えた。「いいえ、祭司様。私は心に悩みのある女です。ぶどう酒も、お酒も飲んではおりません。私は【主】の前に心を注ぎ出していたのです。16 このはしためを、よこしまな女と思わないでください。私は暮る憂いと苛立ちのために、今まで祈っていたのです。」17 エリは答えた。「安心して行きなさい。イスラエルの神が、あなたの願ったその願いをかなえてくださるように。」18 彼女は、「はしためが、あなたのご好意を受けられますように」と言った。それから彼女は帰って食事をした。その顔は、もはや以前のようなではなかった。



毎週土曜日 朝5:15~5:45 BSNテレビにて放送中
★24時間テレホンサービス『でんわ世の光』025(272)3592



7/2(土)ライフ・ラインのつどい in 静岡(浜松)
「わたしについて来なさい」鈴木花安さん/お話し: 関根弘興牧師
静岡県浜松市で行った「ライフ・ラインのつどい」の様子を紹介します。今回の「つどい」では、声楽家の鈴木花安さんが讃美歌を歌い、関根弘興牧師が「わたしについて来なさい」というタイトルで聖書のメッセージを語ります。



日本同盟基督教団 新潟山形宣教区
豊栄キリスト教会 (牧師 近伸之)
かやま会堂 950-3322 新潟市北区嘉山3-11-15
TEL : 025-387-4934 FAX : 025-250-0155
ときわ会堂 950-3321 新潟市北区葛塚3228-3
電子メール info@toyosakakyokai.net
ライブ中継 http://www.toyosakakyokai.sblo.jp